ドラマで学ぶ韓国語(3)―「SKYキャッスル」に出てくる独特な韓国語表現・教育関連用語を中心に―

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-04-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 澤田, 浩之, SAWADA, Hiroyuki メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15053/0000000083

【解説】

ドラマで学ぶ韓国語（3）
－「SKY キャッスル」に出てくる独特な韓国語表現･教育関連用語を中心に－

澤田　浩之

1. はじめに

本稿は、中･上級の韓国語学習者のために、韓国ドラマ「SKY キャッスル」に出てくる「独特な韓国語表現」、「教育関連用語」を中心に解説したものである。

「独特な韓国語表現」では、日本語に訳すと何となく意味は分かるが、結局のところ何を言いたいのかはピンと来ない表現を抽出し、どのようなニュアンスで使われたのかを解説した。

「教育関連用語」では、「高校の種類」、「大学入試制度」、「「수시」（随時)」の評価項目」、「公教育と私教育」に分類し、各語彙の背景を説明するとともに、関連用語を紹介した。

日本語字幕はDVD「SKY キャッスル～上流階級の妻たち～BOX1･2･3」（TC エンタテインメント）に依り、ドラマの中で出てきた【場面】をDVD 何話何分何秒で明示した。本稿は、中･上級の韓国語学習者を対象としていることから、ハングルにはルビを打たず、学習者の理解を助けるために、筆者が直訳を併記した。

本ドラマの真の主人公は子どもたちではなく母親たちである。そこで以下の「主な登場人物」では母親を中心に家族関係を説明するが、非常に登場人物が多く、しかも家族の中で母親だけが名字が異なるため、【場面】説明において人物関係を整理するのは容易ではないであろうがこの点はご容赦頂きたい。

主な登場人物

イ･ミョンジュ一家	息子に見捨てられたことに絶望し自殺する。夫（パク･スチャン）はジュナム大学病院の病院長を確実視されながらも、家庭崩壊により辞職する。息子（パク･ヨンジェ）はキム･ジュヨンの指導を受け、ソウル大医学部に合格するも洗脳され、親に恨みを抱く。
ハン･ソジン一家	本名を変え、過去を偽る。夫（カン･ジュンサン）はジュナム大学病院の整形外科医である。長女（カン･イェソ）は進学校であるシンア高校に首席合格する。キム･ジュヨンの指導を受けソウル大医学部合格を目指す。中学生の次女（カン･イェビン）は大の勉強嫌いである。
イ･スイム一家	SKY キャッスルを題材とした小説を執筆しようとし住人の反感を買う。夫（ファン･チヨン）はパク･スチャンの後任としてジュナム大学病院に採用される。夫の連れ子（ファン･ウジュ）はほとんど独学でシンア高校にカン･イェソと共に首席合格する。
ノ･スンヘ一家	才色兼備の主婦である。夫（チャ･ミニョク）はジュナム大学のロースクール教授である。双子の息子（チャ･ソジュン/ギジュン）は共にシンア高校に通うが、父親のスパルタ教育に嫌気が差している。娘（チャ･セリ）は父親の圧迫に耐え切れずハーバード大学に通っていると嘘をつく。
チン･ジニ一家	ハン･ソジンをロールモデルとして息子を育てている。夫（ウ･ヤンウ）はジュナム大学病院の整形外科医であり、カン･ジュンサンに忠誠を誓っている。中学生の息子（ウ･スハン）は大の勉強嫌いである。
キム･ジュヨン（女）	敏腕の入試コーディネーターであり、受け持った生徒を志望校に合格させるためには手段を選ばない。神童

	と言われた娘が事故で知的障害を患ってからその恨みをはらすように受け持った生徒の家庭を崩壊させる。
キム･ヘナ（女）	シンア高校の生徒であり、カン･ジュンサンの婚外子である。母親がなくなってから住み込みでカン･イェビンの家庭教師を行う。

2. 独特な韓国語表現

・그게 그거다（それがそれだ）

【場面（1話6分20秒）】パク･ヨンジェのソウル大医学部合格パーティーをハン･ソジンが主宰することに夫のカン･ジュンサンは不満である。妻は本人ではなくパク･ヨンジェの母親のためのパーティーだと夫をなだめる。

カン･ジュンサン：**<u>그게 그거지</u>.**
（字幕）同じだろ
（直訳）<u>それがそれだろ</u>。
ハン･ソジン：**뭐가 <u>그게 그거예요</u>.**
（字幕）まったく違う
（直訳）何が<u>それがそれなの</u>。

「그게 그거다（それがそれだ）」は、ある人が思い描いていることと、別の人が思い描いていることとが、実は違うように見えるだけで本質は変わらないと主張する場合の表現である。

この場面で夫は、「パク･ヨンジェのためのパーティー」と「パク･ヨンジェの母親のためのパーティー」は、両者とも「他人のためのパーティー」であるという点では変わりがないという理屈で、『그게 그거지.（それがそれだろ）』と言った。一方、妻は、医学部に合格したパク･ヨンジェ本人よりも母親の方がその何倍も苦労したため、決して同じではないと反論した。妻としては普段娘の教育のために尽くしているにもかかわらず、夫が全く理解してくれないというもどかしさもあり、他人の家のこととは言え、ついパク･ヨンジェの母親に肩入れしたのであろう。

・북 치고 장구 치고（太鼓をたたいてチャングをたたいて）

【場面(1 話 20 分 54 秒)】ハン･ソジンがパク･ヨンジェのために主催したパーティーに、夫は普段着で現れ、冷めた態度を取り続け、途中で退席した。妻が家に帰り、愚痴をこぼすと、夫が逆ギレしてきた。

나까지 북 치고 장구 치라고?
（字幕）大騒ぎしてこびを売れと？
（直訳）俺まで太鼓をたたいてチャングをたたけと（言うのか）？

「북（太鼓)」、「장구（チャング)」、「꽹과리（ケンガリ)」、「징（銅鑼)」の 4 つの打楽器で合奏する「사물놀이（四物(サムル) ノリ)」は、農楽を舞台芸術として構成したものである。「북 치고 장구 치고（太鼓をたたいてチャングをたたいて)」は、2 つの打楽器を 1 人で演奏するというところから、他の人に合わせず独断的に行うという否定的な意味で使われる。

この場面での「북 치고 장구 치고」は慣用的な意味では使われておらず、字義通り、「太鼓をたたいたりチャングをたたいたりして（その場を盛り上げる)」という意味で使われている。夫はパーティーを盛り上げるために自分がどんちゃん騒ぎをすべきだったのかと腹を立てたのである。

この表現は 5 話にも出てくる。SKY キャッスルの住人で行われている読書討論会は実際には討論の場ではなく、カン･イェソが自分の知識をひけらかす独壇場となっていた。このことに不満を感じていたチン･ジニは、『걔 혼자 북 치고 장구 치고.（あの子 1 人で太鼓をたたいてチャングをたたいて)』と愚痴をごぼす。チン･ジニは、この表現を使って読書討論会におけるカン･イェソの振る舞いを皮肉ったのである。

・따 놓은 당상（取っておいた堂上）

【場面（2 話 36 分 20 秒)】パク･スチャンが突然大学病院を辞職したことで周りの医師に動揺が走る。ウ･ヤンウは妻に電話で速報を入れる。

신경외과 과장에 기조실장에 차기 병원장은 따 놓은 당상인데. （字幕）院長の座は目前だったのに （直訳）神経外科長で企画調整室長で（もあるから）次期病院長は取っておいた堂上なのに。

「따 놓은 당상（取っておいた堂上）」の「따 놓은（取っておいた）」は、「떼어 놓은」の形で使われることもある。「당상（堂上）」とは、朝鮮時代の正三品以上の官職のことで、この表現は誰もが羨むようなポストが準備されている、つまり「事が着実に進んでいる」という比喩である。

パク・スチャンの次期病院長就任は確実視されていた。まさに「病院長」というポストは用意されているも同然だった。ウ・ヤンウはカン・ジュンサンの忠実な部下である。ウ・ヤンウはパク・スチャンが次期病院長になればその次はカン・ジュンサンが病院長になり、その次は自分の番だというように頭の中で描いていたはずである。ところが突如派閥のリーダーが辞職したことでその計算が狂った。出世の道が絶たれた現状で、今後どうやって生き残っていくかを相談する相手は妻しかいなかったのであろう。

・미꾸라지 한 마리가 웅덩이 물을 다 흐린다（ドジョウ一匹が水たまりの水を全て濁す）

【場面（8話19分18秒）】SKYキャッスルを題材とした小説を執筆しようと動き回るイ・スイムに対し、チン・ジニが執筆をやめるよう脅しをかける。

미꾸라지 한 마리가 물 흐리는 꼴 더는 못 봐. （字幕）これ以上邪魔するなら （直訳）ドジョウ一匹が水を濁すざま（を）これ以上見てられないわ。

「미꾸라지 한 마리가 웅덩이 물을 다 흐린다（ドジョウ一匹が水たまりの水を全て濁す）」ということわざは、ある一人の好ましくない行為によってある組織が非難を受けたり、役割を果たせない人によって結果が出ずに組織が迷惑を被るという比喩である。上記の台詞はこのことわざの一部

を言い換えた表現である。

この場面に先立ち、SKY キャッスルの住人はイ･ミョンジュが自殺したことで世間から騒がれることを恐れていた。ただでさえマスコミに嗅ぎつけられることを懸念しているところに､住人であるイ･スイム自らが自殺の背景を探り出し、これを題材に小説にしようとしていた。チン･ジニは、SKY キャッスルの平穏な日常を「웅덩이 물（水たまりの水)」に、イ･スイムを「미꾸라지（ドジョウ)」に喩えて、小説を出版する行為というのが何を意味するのかを実感させようとしたのである。

・바늘 도둑이 소 도둑 된다（針泥棒が牛泥棒になる）

【場面（9 話 6 分 27 秒)】次女の万引きをもみ消すハン･ソジン。このままでは次女のためにならないから万引きをやめさせるべきだとイ･スイムが説得する。

그러다 <u>바늘 도둑이 소 도둑 되면</u> 어쩌려고?
（字幕）遊びでは済まなくなる
（直訳）そうしているうちに<u>針泥棒が牛泥棒になったら</u>どうするの？

「바늘 도둑이 소 도둑 된다（針泥棒が牛泥棒になる)」とは、小さな悪事を繰り返すとやがて大きな罪を犯すようになるという意味のことわざである。伝統社会では針は縫物には欠かせない生活必需品ではあるもののそれほど高価ではなかったのに対し、牛は非常に莫大な財産であったところからこのような比喩になったのであろう。

この場面で、ハン･ソジンは自分の娘の行為は、万引きではなくゲームであり、早朝から夜中まで勉強すればストレスが溜まるのは当然でそのストレス解消をしたに過ぎないと擁護する。一方、イ･スイムは、子育てをする親として相手のためを思ってこのことわざを使ったのだがそうは受け取られなかった。『너야 말로 네 아들 그렇게 키워서 괜찮겠니?（あんたこそあんたの息子をそんなふうに育てて大丈夫なの？)』と言い返される有様であった。「구제불능（救済不能→救いようがない)」とはこのことである。

・개천에서 용 난다（どぶから竜が出る）

【場面（9話7分5秒）】イ・スイムから子育てについて干渉されたハン・ソジンは怒りが収まらない。『니 남편 보육원 출신이랬지?（あんたの旦那、施設出身だって言ったよね）』という台詞の後に以下のように続ける。

야, <u>개천에서 용 된</u> 남편 만났으면 정신을 차려야지. （字幕）強運の旦那をつかまえたのよ　しっかりしなきゃ （直訳）ねえ（→あんたさ）、<u>どぶから竜になった</u>旦那と出会ったのなら 精神を整えなきゃ（→気を引き締めなきゃ）。

「개천에서 용 난다（どぶから竜が出る）」は、「개천（どぶ）」のように劣悪な環境で育ったにもかかわらず「용（竜）」のような立派な人物になるという意味のことわざである。上記の台詞はこのことわざの動詞「나다（出る）」を「되다（なる）」に置き変えたものである。

この場面で、ハン・ソジンはイ・スイムの夫が「보육원（保育院→児童養護施設）」で育ったことを「개천」だと捉えている。そのような環境にもかかわらず夫は大学教授という「용」になったわけだが、たまたま今のポストに就いたに過ぎず、後ろ盾がないことからいつ引きずり降ろされるか分からない不安定な状態である。他人の家庭のことに口を挟む余裕があるのなら、今の生活を維持できるよう気を引き締めるべきだと忠告し返したのである。

・굴러 온 돌이 박힌 돌 뺀다（転がってきた石がはさまった石をはじく）

【場面（9話9分10秒）】ファン・チョンが病院長の説得に応じ、脊髄関節センター長就任を受け入れた。この事実を知ったチン・ジニはハン・ソジンに伝えたが、意外にもハン・ソジンはお祝いの花輪を贈ると言い出した。

<u>굴러 들어온 돌이 박힌 돌 빼내게 생겼는데</u>, 화환.

（字幕）内定してた席を奪われて
（直訳）転がって入ってきた石がはさまった石をはじき出しそうなのに花輪（だって）。

「굴러 온 돌이 박힌 돌 뺀다（転がってきた石がはさまった石をはじく）」は、外部から入って来た人がそれまでいた人を追い出すという意味のことわざである。前者の「돌（石）」は新参者を、後者の「돌」は古株・ベテランを象徴している。上記の台詞では「오다（来る）」が「들어오다（入ってくる）」、「빼다（はじく）」が「빼내다（はじき出す）」となっている。

この場面ではファン･チヨンが前者の「돌」で、カン･ジュンサンが後者の「돌」の比喩となっている。カン･ジュンサンは、パク･スチャンが突然大学病院を辞職したことで後ろ盾を失った。このままの勢いでは大学病院における居場所がなくなるかもしれないのに花輪を贈るなんて何をのんきなことを言っているのかとチン･ジニは呆れている。

このことわざの一部を使った台詞が同じ 9 話に出てくる。カン･ジュンサンは、母親が理事長に圧力をかけたことでセンター長になれることを確信した。部下の前で勝ち誇ったように『굴러 온 돌이 까불어?（転がってきた石がふざけやがって）』と言う。この台詞には、新参者のファン･チヨンの分際で俺様に盾突くとは何事かという気持ちが込められている。

・쥐도 새도 모르게（ネズミも鳥も分からないように）

【場面（12 話 31 分 38 秒）】これまでパク･スチャンは息子のことを考えキム･ジュヨンへの復讐を思いとどまってきたがそれも我慢の限界に達した。パク･スチャンは湖の桟橋でキム･ジュヨンに猟銃を向けて警告する。

또다시 이런 일이 생기면 쥐도 새도 모르게 죽여 버릴 테니까.
（字幕）また同じ不幸が起きたらひっそりとあの世へ送ってやる
（直訳）再びこんなことが起きたらネズミも鳥も分からないように殺してしまう（→殺してやる）から。

「쥐도 새도 모르게（ネズミも鳥も分からないように）」とは、何の痕跡も残さずに誰にも分からないようにこっそりとという慣用表現である。「낮말은 새가 듣고 밤말은 쥐가 듣는다（昼の話は鳥が聞き、夜の話はネズミが聞く→壁に耳あり障子に目あり）」ということわざがあるが、昼間活動する鳥や、夜活動するネズミでさえも分からないように、つまり、四六時中決して誰にも分からないようにということである。

上記の台詞では「쥐도 새도 모르게 죽여 버리다（ネズミも鳥も分からないように殺してしまう）」という表現が使われているが、これは脅し文句の定番と言える。また、「이런 일（こんなこと）」というのは、妻を自殺に追い込んで息子を破滅させたように、受け持っている生徒の家庭を崩壊させることを指しており、数十億ウォン（数億円）もの報酬を受け取っておきながら、親を怨むように生徒を洗脳するようなことを今後も繰り返すようであれば誰にも分からないように殺すということである。

・남의 잔치[제사]에 감 놓아라 배 놓아라 한다（他人の祝宴[祭祀]に柿を供えろ梨を供えろと言う）

【場面（13 話 5 分 20 秒）】カン･ジュンサンはパク･スチャンからキム･ジュヨンがどのような人間なのかを聞かされる。怒りを覚えたカン･ジュンサンは妻にすぐに辞めさせるよう迫るが、妻は一歩も引かない。

애들 교육은 관심도 없던 사람이 뭐 이제 와가지고 <u>감 놔라 대추 놔라</u> 상관이야.
（字幕）いまさらああだこうだと首を突っ込まないで
（直訳）子供たちの教育（に）は関心もなかった人が何をいまさら<u>柿を供えろナツメを供えろと</u>（何の）関係なの（→口出ししないで）。

「남의 잔치[제사]에 감 놓아라 배 놓아라 한다（他人の祝宴[祭祀]に柿を供えろ梨を供えろと言う）」ということわざは、他人のことに余計な干渉をするなという意味である。上記の台詞では「배（梨）」が「대추（ナツメ）」となっているが、このようにお供え物を変えて表現する場合もある。

「제사（祭祀）」を行う際には「제수（祭需→先祖へのお供え物）」を「제상（祭床→祭需を供える膳）」に並べるのであるが、各家庭により並べる順番が決まっている。他人が「제수」の供え方に干渉するところから、大きなお世話だという意味になったのである。

この場面で妻が腹を立てたのは、娘に対する教育方針の違いからではない。これまで娘の教育については自分に一任されていたはずなのに夫が急に口出ししてきたからである。本来、子どもの教育は夫婦で担うものであるが、これまでカン･ジュンサンは全く興味を示さなかった。妻が娘の教育に関しては自分の領域だと思い込んでいたのも無理はない。その領域に踏み込んできた夫を妻は他人のように扱ったのである。

・지렁이도 밟으면 꿈틀한다（ミミズも踏めばうごめく）

【場面（13 話 31 分 55 秒）】直属の上司であるカン･ジュンサンの手術を受けることに不安を抱いていることが本人にばれてしまったウ･ヤンウ。謝罪メールを 10 通も送ったのに返事がない。そのことを知った妻が夫の携帯を手にしながら息巻く。

<u>지렁이도 밟으면 꿈틀하는 거야</u>.
（字幕）“一寸の虫にも五分の魂”よ
（直訳）<u>ミミズも踏めばうごめくのよ</u>。

「지렁이도 밟으면 꿈틀한다（ミミズも踏めばうごめく）」とは、どんなに弱小なものでもそれ相応の意地や考えがあるので侮ってはいけないという意味のことわざである。「지렁이（ミミズ）」は伝統社会における身分の低い人を指していて、「양반（両班）」のような貴族に対する戒めの表現だったのではないかと筆者は考えている。

この場面で、ウ･ヤンウの妻は、上司だからと言って何をしてもいいと思ったら大間違いであり、一度ぎゃふんと言わせてやるという気持ちを込めてこの表現を使った。しかし、妻が送ったメールの内容はカン･ジュンサンを崇めるものであった。「지렁이」は最後まで「지렁이」としての振る舞い

を継続することで生き残れるという悲しい現実が垣間見える。

・선무당이 사람 잡는다（未熟なムダンが人を殺す）

【場面（15 話 14 分 14 秒）】かつてイ･スイムは教員を目指し、教育実習を行ったことがあった。実習中に生徒がリストカットしたが、担任には関わらないようにと釘を刺された。

<u>선무당이 사람 잡는다고</u> 참. 쟤 아버지 대학 교수야. 그것도 심리학 교수.
（字幕）未熟者が吠えないで　ヨンドゥの父親は大学で心理学を教えてるの
（直訳）<u>未熟なムダンが人を殺すって（言うでしょ）</u>、まったく。あの子のお父さんは大学教授なのよ。それも心理学の教授。

「선무당이 사람 잡는다（未熟なムダンが人を殺す）」とは、能力がなく役目を果たせない人がむやみにでしゃばると大変なことになるという意味のことわざである。「무당（ムダン）」とは、神霊と人間をつなげるシャーマンのことであるが、医術を身につけた「무당」もおり、「선무당（未熟なムダン）」が患者を死に至らしめたところから由来したのであろう。

この場面で、担任は教育実習生であるイ･スイムを「선무당」扱いした。心理学の専門家である生徒の父親をベテランの「무당」と見立てて対比させている。専門家でさえもさじを投げた生徒にイ･スイムが関わることで大変なことになれば担任が責任を取らなければならなくなる。イ･スイムを止めようとする担任の必死さが伝わってくる。

・하룻강아지 범 무서운 줄 모른다（生まれたばかりの子犬は虎が怖いことを知らない）

【場面（22 話 16 分 1 秒）】病院長の心変わりでカン･ジュンサンが企画調整室長になれそうな流れとなった。ウ･ヤンウは、それまで順風満帆に見えたファン･チョンのことをこき下ろす。

하룻강아지 범 무서운 줄 모르고 댐빈 거죠.
（字幕）やれやれ無鉄砲に飛びかかるから…
（直訳）生まれたばかりの子犬が虎が怖いことを知らずに飛びかかったってことですよ。

「하룻강아지 범 무서운 줄 모른다（生まれたばかりの子犬は虎が怖いことを知らない）」とは、身の程をわきまえない人が怖れを知らず、立ち向かおうとするという意味のことわざである。

この場面でウ･ヤンウは、ファン･チョンを「하룻강아지（生まれたばかりの子犬）」に喩えた。ファン･チョンの医師としてのキャリアは相当なものかもしれないが、ジュナム大学病院には入局して間もないわけで、この病院での振る舞いについてはまだ「ひよっこ」だと言いたいのである。一方、自分が忠誠を誓っているカン･ジュンサンを「범（虎）」に喩え、病院内での強者であると高めた。気分を良くしたカン･ジュンサンは『그래서 모난 돌이 정 맞는단 말이 있는 거야.（だから角ばった石がのみで打たれるという言葉があるんだよ）』と言う。組織内では出る杭は打たれるということである。

・외람되다（僭越だ）

【場面（27 話 35 分 51 秒）】周りの人から冷徹な人間だと誤解され落ち込んだカン･イェソが頼ったのはキム･ジュヨンであった。カン･イェソの母親が電話をかけてきて娘に代わって欲しいというや、キム･ジュヨンは母親に厳しい言葉を浴びせる。

외람되지만 지금은 어머니와 같이 있는 게 되려 공부에 방해만 될 뿐입니다.
（字幕）僭越ながらお母様といることが勉強の邪魔になってます
（直訳）僭越ですが今はお母さんと一緒にいることがかえって勉強に妨

害にのみなるだけです（→勉強の邪魔になるだけです）。

「외람되다（僭越だ）」は、自分の地位や立場を越えて出過ぎたことをするという意味であり、日本語の「僭越」と同義である。日本語では、「僭越ながら」と言えば、目上の人に対してへりくだる前置きとして使われ、この後には、話し手の謙虚な姿勢を表す内容が主に続く。韓国語でも前置きとして使われる点では共通しているが、その後に相手の領域に踏み込むほどの強い内容が続くことがあるという点で違いがある。

この場面で、キム･ジュヨンに電話をしたカン･イェソの母親は娘に代わるようにお願いするが､キム･ジュヨンはそれを無視して上記の台詞を言った。キム･ジュヨンは入試コーディネーターとして雇われたに過ぎない。にもかかわらず『외람되지만（僭越ですが）』という前置きの後に、母娘関係に割って入り、母親の存在を否定するような失礼な発言をした。

33 話にも「외람되다」を使った台詞が出てくる。大学同期に嫉妬心を抱き、動揺するキム･ジュヨンに対して秘書が恐る恐る､『대표님. 외람된 말씀 드려도 되겠습니까?(代表｡僭越なことを申してもよろしいですか？)』と言う。この後、秘書は受け持った生徒を志望校に合格させ、それで大喜びする家族を奈落の底に突き落とすことで大学同期に対する劣等感が満たされると思うのかと問いかける。秘書という立場にもかかわらず、相手のコンプレックスという最もセンシティブな部分に触れている。

・굿이나 보고 떡이나 먹지（クッでも見て餅でも食べろ）

【場面（28 話 7 分 45 秒）】チン･ジニはキム･ヘナを殺したのはカン･イェソではないかと疑っていた。二人が喧嘩していたのを目撃したからだ。チン･ジニの夫はおしゃべりな性格の妻に口止めする。

어허, 당신은 그저 관망, 쉬운 말로 <u>굿이나 보고 떡이나 먹으라니까</u>. （字幕）君は傍観してろ　簡単に言うぞ　よけいなおせっかいはよせ （直訳）こら、君はただ傍観、簡単な言葉で<u>クッでも見て餅でも食べろ</u>

って。

「무당（ムダン）」については前述した通りであるが、「무당」は村の平安・豊作・豊漁、亡くなった人の鎮魂、家庭の安寧と財運、子孫繁栄等を祈願する「굿（クッ）」と呼ばれる儀式を執り行ったりもする。「굿이나 보고 떡이나 먹지（クッでも見て餅でも食べろ）」は、他人のことに無用な干渉をせずに事の成り行きを見届け、「굿」で振る舞われる「떡（餅：伝統社会におけるごちそう）」という利益でも得るようにしろという意味のことわざである。

この場面で夫は、ファン･ウジュが送検されることになったのは可哀そうではあるが、あくまで他人の家のことであると考えている。もし妻が口を滑らせてカン･イェソが疑われでもしようものなら、直属の上司のカン･ジュンサンの立場が危うくなり、自分もとばっちりを食い兼ねない。この後の場面で夫は妻に、あくまで我が家はカン･ジュンサン派だということを念押ししている。

・죽이 되든 밥이 되든（粥になろうがご飯になろうが）

【場面（29 話 17 分 36 秒）】チン･ジニが口を滑らせたのが原因で、カン･ジュンサンはキム･ヘナが実の娘であったことを知り、消息を絶つ。チン･ジニの夫ウ･ヤンウは怒鳴りながら電話を切る。

나 몰라. 난 모르니까 죽이 되든 밥이 되든 당신이 알아서 수습해.
（字幕）吉と出ようが凶と出ようが君が自分で後始末しろ
（直訳）俺は知らないぞ。俺は知らないから粥になろうがご飯になろうが君が（自分で）判断して収拾しろ。

「죽이 되든 밥이 되든（粥になろうがご飯になろうが）」は、まだ炊き上がるまでは「죽（粥）」となるのか「밥（ご飯）」となるのかは分からないが、たとえ結果はどうなろうともという意味の慣用表現である。

この場面に先立ち、カン･ジュンサンは病院長の孫の手術を優先したため

に自分の実の娘であるキム･ヘナを死に至らしめたということを知ってしまった。その原因が妻にあったことを知ったウ･ヤンウは激怒する。カン･ジュンサンが大学病院を辞めることになれば自分の将来が危うくなるが、どうなろうと自分の知ったことではないと自暴自棄な気持ちを妻にぶつける。電話を切られた妻は独り言で、もしそうなったらうちは「끈 떨어진 연（ひもの落ちた凧→糸の切れた凧）」になるのかなと自嘲する。

・죽도 밥도 안 된다（粥にもご飯にもならない）

【場面（33 話 36 分 36 秒）】かつてキム･ジュヨンの娘は最年少で大学に合格した。しかし娘は極度なストレスからパニック障害となる。大学を辞めさせようとする夫にキム･ジュヨンはそれだけはできないと譲らない。

여기서 관두면 <u>죽도 밥도 안 돼</u>. （字幕）すべて水の泡になる （直訳）ここで辞めたら<u>粥にもご飯にもならないのよ</u>。

前述の「죽이 되든 밥이 되든（粥になろうがご飯になろうが）」という表現が炊き上がるまでどうなるか分からない段階であるのに対して、「죽도 밥도 안 된다(粥にもご飯にもならない)」は、炊き上がった結果、「죽(粥)」にしては水気が少なすぎて食べられず、「밥（ご飯)」にしては水気が多すぎてやはり食べられないというところから、中途半端な状態だという意味となる。

キム･ジュヨンはもう少しだけ続ければ娘が大学に適応し、「죽（粥)」になろうが「밥（ご飯)」になろうが何らかの成果を手にすると考えて妥協しなかった。その後、夫を自動車事故に見せかけて殺害するが、その事故で、娘は脳に障害を抱えてしまった。皮肉にもキム･ジュヨンの欲望により、娘は「죽」にも「밥」にもならない最悪の状態になってしまった。

・얼굴이　반쪽이 된다（顔が半分になる）

【場面（31 話 2 分 31 秒)】息子の逮捕に心を痛め、胃痙攣で病院に運ばれ

たイ･スイム。退院後、チン･ジニとノ･スンヘが彼女を励ますために家を訪れた。チン･ジニがイ･スイムの夫ファン･チョンの顔を見て呟く。

아휴 황교수님도 얼굴이　반쪽이 되셨네.
（字幕）ファン教授も痩せちゃった
（直訳）あらまあ、ファン教授も顔が半分になられたわね。

「얼굴이　반쪽이 된다（顔が半分になる）」は、病気や悩みで顔がやせこけるという意味の慣用表現である。この場面に先立ち、ファン･ウジュの両親は息子の無実の罪を晴らすために奔走するが万策尽きて途方に暮れていた。その結果、母親のイ･スイムは胃痙攣をおこし、父親のファン･チョンは真犯人を見つける手立てがなくなったことでこのままでは息子が犯罪者になってしまうという苦悩によりやつれてしまった。久しぶりにファン･チョンの顔を見たチン･ジニはその憔悴ぶりに驚きを隠せず、上記の台詞を呟いた。

この表現は、最近では本来とは異なる使い方がされるようになっている。例えば、ダイエットをしてフェイスラインが以前よりもシャープになった人を見て「얼굴이　반쪽이 됐네요.（顔が半分になりましたね）」と、相手のダイエットの効果を褒める場合にも使われる。

・세월 앞에 장사 없다（歳月の前に壮士はいない）

【場面（32 話 22 分 53 秒）】カン･ジュンサンの母親は息子が大学病院を辞めたがっているのは一時的なものだから心配する必要はないと嫁のハン･ソジンを安心させようとする。

세월 앞에 장사 없다고 시간이 가면 괜찮아질 게야.
（字幕）“時間が薬”と言うでしょ　時が解決してくれる
（直訳）歳月の前に壮士はいないと（言うように）時間が経てば良くなると思うわ。

「장사（壮士)」とは力持ちのことで、「씨름（シルム：朝鮮相撲)」の力士のことを指すこともある。「세월 앞에 장사 없다（歳月の前に壮士はいない)」とは、「장사」のような強い人でも時の流れには逆らうことができないという意味である。

この場面で、ハン･ソジンが動揺しているのは、夫のカン･ジュンサンが出世欲のために自分の実の娘を死なせたことにショックを受け、大学病院を辞めようとしているからである。義母はカン･イェソがソウル大医学部に合格すれば息子は何事もなかったかのように立ち直るはずだからそれまでの辛抱だと言って嫁を落ち着かせようとする。義母は「세월 앞에 장사 없다」を本来の意味ではなく、辛いことや悲しいことも歳月が経つと自然に忘れてしまうものだという意味、つまり「세월이 약（歳月が薬)」の意味で使っている。従って、上記の台詞は『세월이 약이라고 시간이 가면 괜찮아질 게야.（歳月が薬と言うように時間が経てば良くなると思うわ)』とした方が正確な表現になると筆者は考える。

3. 教育関連用語

3. 1. 高校の種類

・특목고（特目高）

【場面（11 話 9 分 20 秒)】パク･ヨンジェが中学生の頃、家には 6 歳年上の家政婦が住込みで働いていた。息子の教育の邪魔になると考えた母親が家政婦を家から追い出すや、パク･ヨンジェは逆上し、バットで鉢植えを叩き壊す。母親は息子を止めながら、期末試験に備えるよう説得する。

너 정말 이러다 <u>특목고</u> 못 가면 어떡할 거야.
（字幕）名門高校にも落ちかねない
（直訳）あんた本当にこんなことしてて<u>特目高</u>に行けなかったらどうするつもりなの。

「특목고（特目高：특수목적고등학교（特殊目的高等学校）の縮約語)」は、科学、芸術、体育等の専門的な教育を行う高校のことであるが、特に

「과고（科高：과학고등학교（科学高等学校）の縮約語）」や「외고（外高：외국어고등학교（外国語高等学校）の縮約語）」等の英才教育機関を指す場合が多い。日本の高校の普通科に相当する「일반고（一般高：일반계고등학교（一般系高等学校）の縮約語）」は、受験生が志望校を直接受験するのではなく、抽選によって割り振られる。しかし「특목고」は志望校を直接受験することができる。

この場面で､イ･ミョンジュが怒り狂う息子を鎮めるのに期末試験の話を持ち出したのは中学校での成績が上位でなくては「특목고」を受験する資格がなくなるからである。母親の説得も虚しく、上記の台詞を言われたパク･ヨンジェは発狂したように叫びまくる。

・과고/자사고（科高/自私高）

【場面（3 話 27 分 38 秒）】チン･ジニがハン･ソジンに息子の高校進学について相談している。チン･ジニは夫との考えの違いをぼやく。

아니, 왜 우리 수한이 아빠는 과고, 과고 하는 거야? 의대 보낼라면 자사고가 낫잖아.
（字幕）旦那が科学高校にどうしても入れたいって　進学校のほうがいいのに
（直訳）でもどうしてうちのスハンのパパ（旦那）は科高、科高って言うんだろ？医学部に送る（→入れる）なら自私高の方がましじゃない。

「과고（科高）」は上述の通り、「특목고（特目高）」の一つである。「자사고(自私高:자율형 사립고등학교(自律型私立高等学校)の縮約語)」は、「独自の教育カリキュラムや学生選抜が許可された学校であ」り、「教育課程の多様化を通じて人的資源の国際競争力を高めるという名目で、2010 年以降の李明博政権期に一気に増え[1]」、こちらも入学するには試験を

[1] 崔寶允（2021）「『SKY キャッスル（2018～2019、JTBC)』で考える「学生簿総合選

受ける必要がある。なお、「자사고（自私高）」は、2025 年度に「일반고（一般高）」に転換されることとなっている。

3. 2. 大学入試制度

・정시（定時）

【場面（18 話 27 分 30 秒）】ハン・ソジンは娘の国語の成績が振るわないことで苛立ちを隠せない。キム・ジュヨンにどのような対策を講じるつもりなのかを問い詰めるが納得のいく答えが返ってこない。

또다시 우를 범하지 않기 위해서라도 혹시 모를 <u>정시</u> 준비도 해 주셔야 돼요. （字幕）そうならないために一般入試の準備もすべきです （直訳）再び愚を犯すことのないためにもひょっとしたら分からない（→万一に備えた）<u>定時</u>の準備もしていただかなければなりません。

大学入試は大きく「정시（定時：정시모집（定時募集）の縮約語）」と「수시（随時：수시모집（随時募集）の縮約語）」に分けられる。「정시（定時）」は、日本の大学入学共通テスト（旧センター試験）に相当する「수능（修能：대학수학능력시험（大学修学能力試験）の縮約語）」を中心に評価される。一方、「수시（随時）」は大学・学科毎に「생기부（生記簿：학교생활기록부（学校生活記録簿）の縮約語）」、論述、面接などの評価比率が異なっており、「수능（修能）」の点数配分も異なる。

キム・ジュヨンは「수시」一本に絞ってカン・イェソを指導している。ハン・ソジンは、校内の定期試験での成績が下がったことでこれが内申点に響き「수시」での合格が危うくなるのではないかと心配している。キム・ジュヨンの指導方針に口を挟むのは失礼になると分かっていながらも「정시」にも同時に備えておくべきだと意見したのである。

考」」、『比較文化研究』No. 145、94 頁。

・학종（学総）

【場面（1 話 6 分 55 秒)】ハン･ソジンはパク･ヨンジェのためにパーティーを主催することに難癖をつける夫を納得させようとする。

영재, 학종으로 서울의대 합격했어요. （字幕）総合評価で医大に合格したのよ （直訳）ヨンジェは学総でソウル大医学部に合格したんですよ。

「학종（学総：학생부종합전형（学生簿総合銓衡【選考】）の縮約語)」は、「수시（随時)」の類型の一つであり、内申点だけでなく、「생기부（生記簿)」に記載されたほぼ全ての要素を総合的に考慮して評価し、選抜する選考方法である。「「入学査定官制」は、学生簿、自己紹介書、推薦書、証明資料（ポートフォリオ)、創意的な体験活動などを土台に学生を総合的に評価する選抜方式であ」り、これを「改変した「学生簿総合選考」は現在大学入試の主流になっている[2]」。

この場面の後で、ハン･ソジンは夫に、パーティーを主催する真の目的はパク･ヨンジェの母親からポートフォリオを手に入れることであると明かす。ポートフォリオの中には、小論文のテーマ、ボランティアや部活の内容など、「학종（学総)」における評価を大きく左右する項目の全てが記載されている。パク･ヨンジェがポートフォリオを作成するにあたり、入試コーディネーターの力を借りた事実を知っている周りの親は、虎視眈々とこれを狙っていたのである。実際に「학종」は、親の経済力や情報力によって差が出るという批判があり、「금수저 전형（金の匙と箸（→金のスプーン）選考)」という言葉があるほどである。

・학력고사（学力考査）

【場面（1 話 21 分 17 秒)】ハン･ソジンがパク･ヨンジェのためにパーティーを主催したことに嫌味を言う夫。夫が費用の話を切り出すと、妻はパク･

[2] 崔寶允（2021)、前掲書、86 頁。

ヨンジェが作成したポートフォリオはそれほどの価値があると反論する。

당신 같은 학력고사 세대랑은 달라요. 다르다고. （字幕）学力絶対主義の時代は終わったの （直訳）あなたのような学力考査世代とは違うんですよ。違うんだって。

「학력고사（学力考査：대학입학학력고사（大学入学学力考査）の縮約語)」は、1982 年度から 1993 年度まで実施された大学入試制度である。知識の量を目的とし、暗記に重点が置かれた。

この場面で妻は、暗記重視であった夫の時代の試験対策では、「학종（学総)」で勝負しようとしている娘の役には立たないと、全否定している。現代は情報戦であり、戦略を立てて臨まないと競争には勝てないというのが妻の考えである。この戦略は、受験生本人ではなく、親が立てるものであり、親が勝ち組であれば当然有利であり、それを生かさない手はないという妻の利己的な面が表れている。

3. 3.「수시（随時）」の評価項目

・자소서（自紹書）

【場面（1 話 31 分 29 秒)】イ・ミョンジュがなぜ頑なに息子のポートフォリオを見せようとしないのかを推測するハン・ソジンとチン・ジニ。ふとハン・ソジンがある可能性を思いつき、チン・ジニの息子ウ・スハンの立場に置き換えて問いかける。

만약 누가 수한이 대입 자소서를 대신…덕분에 수한이가 대학에 합격했다면? （字幕）受験用の自己 PR 文を誰かが代筆してスハンが合格したら？ （直訳）もし誰かがスハンの大学入試の自紹書を代わりに…（その）おかげでスハンが大学に合格したとしたら？

「자소서（自紹書：자기소개서（自己紹介書）の縮約語)」は、入試の際

に作成するものと、就職の際に作成するものとに大別されるが、ここでは前者についてのみ言及する。「자소서」は、以前は４つの項目で構成されていたが、現在は３つの項目となった。このうち、高校在学期間中に自分の進路と関連してどのような努力をしてきたのか、他人と共同体のために努力した経験という２つの項目は全ての大学で共通である。これ以外に大学別に自由課題が出される。

この場面で２人は、大学教授であるチャ･ミニョクが添削したに違いないという結論に達する。この後の場面でチャ･ミニョクは妻にソウル大医学部の「자소서」の４番「高校在学中に感銘深く読んだ本３冊」を代筆したことを告白する。ドラマ放映中は「자소서」が４つの項目で構成されており、４番が現在の３つ目の項目の大学別自由課題に該当する。ドラマでは心血が注がれた「자소서」も 2024 年度大学入試から廃止される。

・생기부（生記簿）

【場面（1 話 32 分 54 秒)】チャ･ミニョクは妻にパク･ヨンジェのポートフォリオを手に入れさせようとしているが、妻は執着していない。夫は妻を何とかして動かそうと、これまで自分がやってきたことをアピールする。

영재 생기부 독서 리스트에 꼬박꼬박 내가 읽힌 책 제목이 실렸어.
（字幕）ヨンジェの読書リストは私が埋めたも同然だ
（直訳）ヨンジェの生記簿の読書リストにきちんと俺が読ませた本のタイトルが載せられている。

「생기부（生記簿)」には、成績・出欠だけでなく、高校時代の生活全般に渡って記載される。「생기부」の中に「독서활동상황（読書活動状況)」という項目があり、ここには学年別に自分が読んだ本のタイトルと著者のみを記載するようになっている。

この場面でチャ･ミニョクは、パク･ヨンジェの「독서활동상황」欄の著者とタイトルを埋めるのを手伝っただけだというのにどや顔をしている。これは大学教授という立場から一般書と専門書を絶妙な塩梅で配置し、パ

ク・ヨンジェが医学部で必要とされる専門性と人間性を身に付けているということを裏付けたと自負しているからである。なお、2024 年度大学入試から「생기부（生記簿）」の項目は縮小され、「독서활동상황」は評価には反映されなくなる。

・경시대회（競試大会）

【場面（2 話 16 分 46 秒）】ハン・ソジンは娘をソウル大医学部に合格させるためにキム・ジュヨンに入試コーディネートを依頼しようとするが資金が足りない。夫に相談すると反対されると思い、義母を訪れ、資金援助をお願いする。

우리 예서 수학 경시대회에서 대상 받은 날 어머니도 기뻐하셨잖아요? （字幕）数学の大会で優勝した日喜んでくれたでしょう？ （直訳）うちのイェソが数学競試大会で大賞をもらった日、お母さん（→お義母様）もお喜びだったじゃありませんか。

「경시대회（競試大会）」は校内外で行われるもので、大きい大会であれば全国規模の数学・科学オリンピックなどがあり、賞を取れば「생기부（生記簿）」の「수상경력（受賞経歴）」の項目に記載される。

11 話にカン・イェソの「경시대회」における「수상경력」の内容が出てくる。カン・イェソは「독후감 대회（読後感大会→読書感想文コンテスト）」で最優秀賞、「청소년 학술 대회（青少年学術大会）」で金賞を受賞したことを自慢する。

上記の場面での「수학 경시대회（数学競試大会）」がどの程度の規模なのかは不明であるが、ハン・ソジンはお金を出すのを渋っている義母を説得するためにこの話を持ち出した。カン・イェソが「수학 경시대회」で大賞を取った時に感じた喜びを、将来ソウル大医学部に合格した時に再び味わいましょうと、義母の感情を揺さぶろうとしたのである。

・수행평가（遂行評価）

【場面（8 話 24 分 20 秒）】授業を直接せずに、インターネット講義を受けさせようとする教師に対し、キム･ヘナが異議を唱えるや、教師は怒って教室から出て行く。カン･イェソが授業態度も遂行評価に含まれると言うと、キム･ヘナは遂行評価の定義を述べ、反論する。

수행평간 학생들을 수업시간에 능동적으로 참여시키려고 만든 제도야. （字幕）評定は学生を授業に集中させるために作られた制度よ （直訳）遂行評価は学生たちを授業時間に能動的に参与（→参加）させようと作った（→作られた）制度よ。

「수행평가（遂行評価）」は、ある課題に対する結果だけではなく、その過程についても評価をする、プロセス中心評価のことである。例えば、ある課題をグループ別に行わせ、教師がその過程を評価したり、学生に相互評価や自己評価をさせる。国語や英語でスピーキング能力を試したり、その他の科目ではプレゼン形式で発表させたりというものもある。上記の台詞に先立ち､カン･イェソの言った授業態度も遂行評価の一部だというのは､まさにその通りである。

「수행평가」は、プロセス評価だけでなく、記述式問題である「서술형 평가（叙述型評価）」や論述式問題である「논술형 평가（論述型評価）」等の定期試験における問題形式を指すこともある。12 話でキム･ヘナは、クラスメートの課題代行料金として提示された額の 3 倍を要求する。難色を示すクラスメートの母親に『앞으로 우리 학교 서술형 문제도 수행평가로 들어가요. 그럼 국영수는 수행 비율이 50%나 되는데.（今後我が校では叙述型の問題も遂行評価に入ります。そうなれば国英数は遂行の比率が 50%にもなりますが）』と脅しをかける。定期試験において、マークシート問題の割合を減らし、記述・論述式問題の割合を増やす趨勢が反映されている。

・비교과 활동（非教科活動）

【場面（11 話 24 分 49 秒）】キム･ジュヨンに生徒会長になることを反対され、腹を立てるカン･イェソ。同様に反対するカン･ジュンサンに対して、妻は夫の時代の生徒会長とは重みが異なることを強調する。

전교회장은 비교과 활동 중에서도 가장 기본적인 스펙이라고요. （字幕）生徒会長は校内活動で最も基本的なスペックよ （直訳）全校会長（→生徒会長）は、非教科活動の中でも最も基本的なスペックなんですよ。

「생기부（生記簿）」に記載する項目の大枠として「비교과 활동（非教科活動）」という項目があり、下位項目に「자율활동（自律活動）」、「동아리 활동（サークル活動）」、「봉사활동（奉仕活動）」、「수상경력（受賞経歴）」、「독서활동（読書活動）」等がある。上記の台詞の「전교회장（生徒会長）」は「자율활동（自律活動）」の項目に該当する。

11 話にカン･イェソが行っている「동아리　활동（サークル活動）」と「봉사활동(奉仕活動)」の内容が出てくる。カン･イェソは､「동아리 활동」として、父親が勤務するジュナム大の整形外科の手術を見学し、医学論文作成法の講義を受け、次回は神経外科の集中治療室と CT 室を訪問するというシーンがある。これは、校内に設けられた「정규동아리（正規サークル)」ではなく個人的に行っている「자율동아리（自律サークル)」であると推測される｡「봉사활동」としては週末毎に療養病院でボランティアをし、その内容を報告書として作成するという活動を行っている。このような「비교과　활동」は、2024 年度から大学入試制度が変更され、評価に反映されなくなる。

・등급（等級）

【場面（28 話 1 分 32 秒）】双子のチャ･ソジュンとギジュンがファン･ウジュが逮捕されたことで落ち込んでいるカン･イェソのことを心配している。二人の会話に父親が割り込んできて、今こそ絶好のチャンスだと言う。

3 학년 전체 100 명 중에 1 등급은 4 등까지잖아. 혜나같이 우주같이 예서까지 흔들리면 3 명 제껴지는 건데.

（字幕）100 人のうち A 判定は上位 4 人だ　ヘナとウジュ　イェソまで消えたら 3 席空く

（直訳）3 年生全体 100 人のうち、1 等級は 4 位までじゃないか。ヘナのようにウジュのようにイェソまで揺らげば 3 人を退けることになるのに。

「수시」の評価項目では校内での中間試験、期末試験の成績も大切である。成績は、「등급（等級）」によって分類される。例えば、「수능（修能）」では、成績上位 4%未満が「1 등급」、4～11%が「2 등급」というように、9 等級に分類されている。

上記の台詞からシンア高校では「1 등급」が上位 4%であることが分かる。この「등급」が内申に反映されるため、成績優秀者が集まる高校では内申点を上げるのが容易ではない。後述する「대치동（大峙洞）」の項目に出てくる超一流の「학원（学院：学習塾、各種習い事の教室に該当）」でもシンア高校専門の内申クラスを設けるのを忌避する理由がここにある。

3. 4. 公教育と私教育

・入学査定官（入学査定官）

【場面（2 話 3 分 26 秒）】表向きは投資説明会、実際は銀行の VVIP 顧客と入試コーディネーターをつなぐ極秘の会合に出席することになったハン・ソジン。出席に先立ちイ･ミョンジュからアドバイスを受ける。

우리 영재 코디는 서울대 입학사정관 출신이었어.

（字幕）ヨンジェのコーデは入学審査官出身よ

（直訳）うちのヨンジェのコーディネーターはソウル大の入学査定官出身だったの。

「입학사정관（入学査定官）」は、各大学で採用された入試担当の専門家であり、受験者の学業成績だけでなく成長過程、特技、対人関係、素質、潜在力等を総合的に評価し、選抜する業務を担当する。現在では特に「학종（学総）」の評価でその役割を発揮する。

パク・ヨンジェは入試コーディネーターからソウル大の「수시」に特化した指導を受け、医学部に合格した。そのコーディネーターはソウル大の元「입학사정관」であり、ソウル大の「수시」における評価基準とその対策を熟知している。まさに裏事情を知っているわけだ。ハン・ソジンにとっては様々な情報にまどわされずパク・ヨンジェが受けたコーディネーターを是が非でも探し当てなければならないという気持ちにさせられるほどの情報であった。

・족집게（毛抜き）

【場面（2話3分49秒）】例の極秘の会合への出席に先立ち、ハン・ソジンに対するイ・ミョンジュのアドバイスがさらに続く。

아주 족집게 귀신들이야.
（字幕）怖いくらい当たるの
（直訳）完全に毛抜きの化け物たちよ。

「족집게」は、毛や棘をはさんで抜き取る「毛抜き」以外に、「ある事を予測して当てる」という意味もあり、特に試験問題の出題傾向を分析し、予想問題を的中させることを指す。塾の募集広告で「족집게 특강（毛抜き特講）」という謳い文句として使われる場合は、入試に限らず資格や公務員試験などの短期集中講座として各種試験に特化した講義を通して合格を目指すものである。また、このような講義で使用される予想試験問題を「족집게 시험지（毛抜き試験紙）」と言う。

この場面でイ・ミョンジュは息子のコーディネーターには内申専門の講師陣がついていたことを暴露した。ここで言う講師は、いわゆる「족집게 강사（毛抜き講師）」のことである。内申専門であることから、校内での中

間･期末試験の成績を上げるのに特化した講師であることが分かる。パク･ヨンジェのコーディネーター本人はソウル大の「입학사정관(入学査定官)」出身であり、さらに内申専門の講師陣までついているという事実を知り、ハン･ソジンの気持ちはますます高まる。

・대치동（大峙洞）

【場面（5 話 16 分 36 秒)】キム･ジュヨンを首にしたハン･ソジンはシンア高校専門の内申クラスを探し出すと娘に約束するが結局見つけられない。代わりにグループ指導を受けられることになり、娘に伝えるが…

대치동의 유명한 학원은 다 알아봤는데 신아고 내신반이 없어.
（字幕）シンア高の生徒が入れる塾はなかった
（直訳）大峙洞の有名な学院（→塾）は全部調べたけどシンア高の内申クラスはないの。

「대치동（大峙洞)」は、ソウルの江南地区に位置し、裕福な家庭の人が多く、親の教育熱が高いというイメージを有する地域である。トップクラスの「학원（学院)」や優秀な家庭教師が集中している。

この場面で、ハン･ソジンは「대치동」にある「학원」を訪ねるが、シンア高校専門の内申クラスを設けているところは見つからなかった。シンア高校の生徒は優秀なので、内申点を上げるのは容易ではなく、クレームを入れられるのを恐れ、そのようなクラスを作らないとのことであった。「대치동」の超一流の「학원」をもってしてもシンア高校には対応できないほど、シンア高校のレベルが高いことを窺わせる。

・야자（夜自）

【場面（7 話 17 分 26 秒)】イ･スイムが息子に電話をかけ、学校まで車で迎えに行くことを提案するが、息子は学校に残って勉強したいと言う。

저 오늘은 야자 끝까지 할 건데.
（字幕）今日は補習で遅くなる
（直訳）私（→僕）今日は夜自を最後までするつもりなんだけど。

中学や高校での正規授業以外の自習時間を「자율학습（自律学習）」と言うが、半強制的であり、放課後から夜にかけて行われることから「야자（夜自：야간자율학습（夜間自律学習）の縮約語）」と称される。公教育を充実させることで私教育費の負担を軽減しようというものである。

ファン･ウジュとカン･イェソはシンア高校に首席合格したが、ファン･ウジュはほとんど独学であった。高校入学後も、ほぼ公教育のみで勉強を続けていたことが上記の台詞で分かる。一方、カン･イェソは私教育の代表と言える「학원（学院）」ではもの足らず、専属の入試コーディネーターを雇っているほどである。カン･イェソの母ハン･ソジンがファン･ウジュに嫉妬するのも無理はない。

・선행（先行）

【場面（18 話 3 分 46 秒）】キム･ヘナの家庭教師を受けることになったカン･イェビンのことをバカにする姉。キム･ヘナはカン･イェビンのこれまでの勉強法の改善点を指摘し、今後の可能性について説明する。

제 생각엔 예빈이가 그동안 개념이 허술한 상태에서 선행을 따라가다 보니깐 흥미를 잃었던 게 아닐까 싶어요.
（字幕）私が思うに基礎を理解しないままペースの速い授業を受けて興味を失ったのかと
（直訳）私の考えではイェビンがこれまで概念がおろそかな状態で先行についていって、興味を失ったのではないかと思います。

「선행（先行：선행학습/선행교육（先行学習/先行教育）の縮約語）」は例えば、中学 1 年生の段階で 2 年生の内容を、中学 3 年生の段階で高校 1 年生の内容をというように、事前に次の段階の教科内容を学んでおくこと

を言う。現在、「선행（先行))」は、「公教育正常化促進及び先行教育規制に関する特別法」という法律で禁止されているが、この法律は有名無実化している。

ドラマでもイェビンの通っている「대치동（大峙洞)」の「학원（学院)」では「선행」が行われている。受講者が消化できていなくても授業は先へ先へと進めれれる。講師としては受講者の親の手前、どこまで進めたかが重要なのであろう。この問題点をキム･ヘナは指摘し、カン･イェビンの父親を感嘆させた。

4. おわりに

以上、本稿では、韓国ドラマ「SKY キャッスル」に出てくる「独特な韓国語表現」、「教育関連用語」を中心に解説した。

本ドラマでは競争から解放された主人公たちが、SKY キャッスルへの新しい入居者に以前の自分たちの姿を重ね合わせ、憐れむ様子に本当の幸せとは何なのかを暗示している。しかしこのような結末には、批判もあるであろう。視聴者にとっては主人公たちの選択が現実の競争社会から抜け出す方法を提示したとは言えないからである。

しかし、ドラマ放送後、コロナによって韓国社会は劇的に変化した。人々の価値観が変わったと言うよりはそれまで心の中にひめていたことを堂々と言える雰囲気になったのである。決められた道を進むのではなく、自分が本当にやりたいことを目指すというのが許される雰囲気が醸成されつつあることから様々な選択が受け入れられる可能性がある。今後韓国社会がどの程度多様性のある社会となっていくのか注目に値する。